

好きです！



南関三小

学校教育目標

「やさしく・しっかり考え・たくましい
『南関三小っ子』の育成」

《育てたい力》

協力する力

考える力

やり抜く力

令和7年度前期終業式

「チャレンジ！ 一歩前進！」の積み重ね

10月10日（金）、子供たちは元気に前期終業式を迎えました。今年度の学校スローガン「チャレンジ！ 一歩前進！」のもと、子供たちは毎日の学習や生活の中で、新しいことに挑戦し、自分の一歩一歩を積み重ねてきました。担任が子供たちを見つめ、成長した様子を書き記した通知表を読みました。一人一人が輝いて活躍している様子に大変うれしくなりました。

授業では、わからない問題に粘り強く向き合い、友達と考えを出し合う姿が見られました。行事でも、子供たちのチャレンジする姿が輝いていました。運動会では、応援団や準備係として責任ある仕事に取り組み、仲間と協力して競技を支える姿が見られました。水泳記録会では、「去年より長く泳ぎたい」「25mに挑戦したい」と目標をもって練習に励み、達成感を味わう子供たちの笑顔がとても印象的でした。

係や委員会活動では、自分の役割を忘れずに果たし、友達のために進んで行動する姿が定着してきました。配り係や黒板係、図書委員など、それぞれの場面で「自分にできること」を考え、責任をもって取り組む姿が見られます。また友達の困りごとに気づき声をかけ、下級生の手本となる行動も、自然に見られるようになってきました。

こうした日々の中で、「考える力」「やり抜く力」「協力する力」の3つの資質・能力が、どの学年でも着実に育っています。

後期も、一人一人が自分の力を信じて、「チャレンジ！ 一歩前進！」を更に進め、子供たちが新たな一歩を踏み出していけるよう、学校と家庭、地域が連携しながら、教育を進めていきたいと思ひます。

学習姿勢コンクールを実施しました

9月1日から11日までの期間、本校では「学習姿勢コンクール」を実施しました。正しい姿勢で学習に取り組むことは、脳の働きを活性化させ、理解力や集中力を高めるうえでとても大切です。

期間中、子供たちは授業中の姿勢保持を意識しながら、主体的に学び、友達と協力して課題に取り組む姿を多く見せてくれました。学習規律が高まることで、学びの姿そのものが向上し、教室には落ち着いた雰囲気と前向きな空気が広がりました。

今後も、学習の土台となる「姿勢」を大切にしながら、子供たちの学習意欲と自ら考え学び合う態度を育てていきます。

6年生が未来の南関町を提案

～南関町70周年記念式典にて～

10月8日（水）、南関町の町制施行70周年を記念する式典が、町交流拠点施設「ukara（うから）」で開催されました。式典では、町の小・中学生が「10年後の未来の南関町」について、それぞれの視点で考えた提案を発表しました。

南関第三小学校からは6年生が代表として参加し、班ごとに3つのテーマで発表を行いました。1つ目は、「南関町に楽しく人口の増えるような多目的ビルを！」。買い物や遊び、仕事など、さまざまな目的で使える施設をつくることで、町に人が集まり、にぎやかになる未来を描きました。2つ目は、「熱中症対策を行った住みやすい学校」。人々の住む環境について、「暑さに負けず、安心して学べるように体育館にエアコンを設置する」など、自らの経験をもとに提案しました。3つ目は、「南関町の歴史や文化財産を大切にしたい外国の方々との交流」。町の宝物を守りながら、世界の人とつながることで、南関町の魅力を広げていこうという思いが込められていました。

どのグループも、堂々とした態度で発表し、自分たちの言葉でしっかりと伝える姿が印象的でした。会場の皆さんからは、「とてもよかった」「子供たちの発想に感心した」と大変好評をいただきました。6年生にとって、総合的な学習の時間での学習「大好き！南関町」の一環として、町の未来を考える貴重な機会となり、南関町のよさを改めて感じる時間にもなりました。